

特別講演

アカデミアにおける男女共同参画推進の意義

-科学技術の振興、ならびにワークライフバランスと少子化対策の視点から-

Gender Equality in Science and the Arts:

focusing on Work-Life Balance and Childcare Support



猪口 邦子 氏

Kuniko INOBUCHI, Ph.D.

- 衆議院議員
- 元内閣府特命担当大臣
(少子化、男女共同参画)

- ・元軍縮会議日本政府代表部
特命全権大使（在ジュネーブ）
- ・元上智大学教授（国際政治学）
- ・米エール大学政治学博士（Ph. D.）

1952年千葉県生まれ。上智大学外国語学部を卒業後、米
エール大学大学院で政治学博士号取得。上智大学法学部教
授、軍縮会議日本政府代表部特命全権大使、軍縮会議（ジュ
ネーブ）議長、国連第一回小型武器中間会合議長などを歴任。
2005年より衆議院議員。現在は、自由民主党国際局局長代理。

2008年 7月12日（土）

13:00 ~ 14:30 (開場 12:30)

北海道大学 理学部大講堂

Lecture Hall of Graduate School of Science

(理学部5号館2階) JR札幌駅より徒歩15分
地下鉄12条駅より徒歩10分

入場無料 (どなたでも入場できます)

※講演は英語ですが同時通訳あり



■主催 / 北海道大学 女性研究者支援室 (FResHU)
■問合せ先 / Phone: 011-706.3625 FAX: 011-706.3692 E-mail: freshu@jimuhokudai.ac.jp
URL: <http://freshu.ist.hokudai.ac.jp/>
□構内はお車でのご入場はできません

